

令和 7 年度 農業農村整備事業の環境に係る情報協議会

環境情報協議会での専門委員からの主な意見は次のとおりです。

○検討対象地区への意見

- ・ほ場整備を行うと水や土壌が攪拌され、作物の品質低下の懸念もあることから、農家の意見を聞きながら、「やって良かった」と言われるように事業を進めてほしい。
- ・排水路によっては集落からの排水が流入している路線もあるため、そういった箇所の生物も調査してみてはどうか。
- ・工事完了後のフォローアップとしての生きもの調査の実施についても、今後地域で検討を行ってほしい。
- ・調査地点を整理する際は、場所や水温以外に、水路や河川の流量が多いか少ないかも整理した方がよい。
- ・生きものを避難させる際は、避難先にも同種が生息しているかどうかを確認すること。
- ・景観の配慮を行う際は、誰をターゲットにした配慮かを考えること。
- ・隣県では数を減らしているヌカエビが多く見られており、豊かな自然が残っていると思う。この自然を子どもたちに残すことは、大人の責任と考える。
- ・動物と同様に植物も外来種が増えているが、うまく付き合っていくしかないと思う。

○委員長総括

- ・発表地区の内容が年々良くなっていると感じるが、これは平成 14 年から継続してきた成果だと思う。
- ・今後もこの取組を継続させ、さらに改善させていってほしい。